

バックアップって  
意外に簡単!

## 日頃の備えがあなたを救う!

ご自身のパソコンのデータのバックアップはとっていますか?この問いに自信をもって「はい」と答えられる方は意外と少ないのではないのでしょうか?パソコンは絶対壊れない、という思い込みのもと、バックアップをとらずに使い続けて、ある日突然Windowsが起動しなくなり、途方にくれる...。こういう経験をされた方も少なからずいると思います。パソコンはいつか壊れるもの、という認識のもと、バックアップを普段からとる習慣をつけておけば、いざというときに後悔しなくて済みます。今日からでも遅くありません。できるところからはじめてみませんか?

### バックアップの 基本その1

#### 別ドライブだからこそ意味がある!

同じハードディスク内に、バックアップしたファイルを置いていませんか?同じハードディスク内に同じファイルを何個コピーしておいてもハードディスクが壊れるとそれらは全て失われます。これではバックアップの意味がなくなります。当たり前ですが、バックアップは必ず**外付けハードディスク、USBメモリ、CD-ROM、DVD-ROM**等の別メディアにとりましょう。



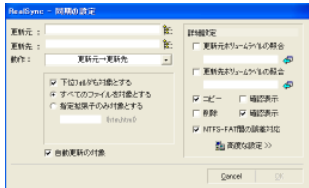
### バックアップの 基本その2

#### 自動化が長続きするコツ!

**バックアップは定期的に行うことが肝心です。**でも毎回手作業で行っていると、「面倒になりそのうちやらなくなってしまふ」ということになりがちです。でもご安心ください。無料で便利なソフトがたくさんありますので、使わない手はありません。そのひとつをご紹介します。

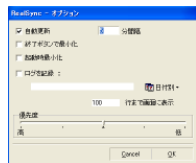
#### RealSync

このフリーソフトは、指定した2つのフォルダの内容を常に同じ内容にする(同期をとる)ソフトです。「スタートアップ」に追加しておけば、Windowsが起動している間、常に2つのフォルダを同期します。



設定画面で**更新元**と**更新先**フォルダを指定して、「**自動更新の対象**」をチェックしておきます。オプション画面で「**自動更新**」「**起動時最小化**」をチェックして更新間隔時間を設定しておきます。この設定で**Real Syncのショートカットをスタートアップに登録**しておけば、一定間隔でフォル

ダを同期してバックアップします。もちろん更新先は、更新元とは別のドライブ(別のHDDなど)に設定しておくことが大事です。同期の設定画面で「**ボリュームラベルの照合**」にチェックをつけておけば、**USBメモリが挿してある時**だけ、**ネットワークドライブに接続している時**だけバックアップする事もできます。



**この他にも多くのフリーソフトがありますので、探してみてください。**

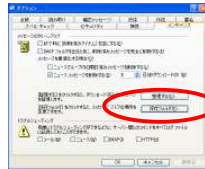
### バックアップの 基本その3

#### ホントに大事なものはナニ?

漠然とバックアップといっても、何をバックアップすればよいのか分からないかもしれませんが、だからといって何でもかんでもバックアップすると收拾がつかなくなります。冷静に考えると意外と絞り込めるものです。自分で作成・収集したファイルなどはもちろんですが、忘れやすいのがメールやソフトに関係するデータです。CDやダウンロードで入手可能なものは必要なく、インストール後に蓄積されたデータが対象になります。

#### メールのデータ

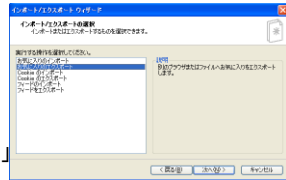
Outlook Expressの場合は、「ツール」→「オプション」→「メンテナンス」タブにある「**保存フォルダ**」ボタンをクリックするとメールデータの保存先が表示されます。「Outlook Express」フォルダを丸ごとコピーしておけば、受信トレイから削除済みアイテムまで全てのメールデータをバックアップできます。



Outlookの場合は、「ファイル」→「インポートとエクスポート」で、ウィザードが開きますので「**ファイルへエクスポート**」→「**個人用ファイルフォルダ (.pst)**」を選択してバックアップするフォルダを選べます。バックアップから戻す時は、「インポート」を選択します。

#### Webのお気に入り

インターネットエクスプローラの場合も、「ファイル」→「インポートおよびエクスポート」でウィザードが開きますので「お気に入りのエクスポート」を選択します。そのままウィザードを進むと、マイドキュメントの中に「**bookmark.htm**」ファイルが出来上がります。



このファイルをバックアップとして保存しておきましょう。戻す時はウィザードの「お気に入りのインポート」を選択して、バックアップしておいた「bookmark.htm」を指定するだけです。

#### その他のデータ

ソフトによっては各種設定やデータをエクスポート、インポートできるソフトがありますので、よく使うソフトは設定のバックアップ機能、データのバックアップ機能があるか一度調べてみましょう。

**「バックアップ」は、やってみれば意外に簡単に出来るものですよ。**

## 大変だ! HDDに空きがない!

バックアップをとっていると、いつの間にかHDDの容量がなくなっている事があります。でも、世の中には**オンラインストレージ**という便利なサービスがあります。インターネット上に自分専用のHDDがあるようなものです。バックアップの保存場所に利用できるかも知れませんね。

#### Windows Live SkyDrive

<http://skydrive.live.com/welcomemoreinfo.aspx>

容量は5GBまで。**無料**のWindows Live IDに登録すれば、インターネットに接続できるパソコンから利用できます。5GBの容量を「**個人フォルダ**」「**共有フォルダ**」「**公開フォルダ**」の3つの方法で利用できます。

#### 個人フォルダ

このフォルダはWindows Live IDで保護されていますので、**本人しかアクセスできません**。個人のバックアップ用フォルダとして利用できます。

#### 共有フォルダ

このフォルダは**アクセス許可の設定が出来ます**。Windows Live IDでフォルダやファイルのアクセス権を管理でき、さらにファイルの閲覧のみ、ファイルの追加・削除の許可といったファイルごとの設定もできます。

#### 公開フォルダ

その名の通り、**インターネットに接続できるユーザーにファイルを公開できます**。閲覧はできますが、編集はできません。



## オンラインストレージの注意点

#### セキュリティ

インターネット上に置くということは、自分の家のハードディスクにおくよりは、他の人に見られる可能性が高くなることはいうまでもありません。パスワードや暗号化などの処置をしているサービスがほとんどですが、**あまり重要なものは置かないようにした方が賢明です**。

#### 速度

インターネット上にありますから、自宅や利用先の回線速度によってはコピーの速度が遅いこともあり得ます。少なくとも**パソコンに直接接続するメディアへのコピーよりは遅い**と考えて間違いないでしょう。

上記を承知で割り切って使うならば、非常にお手軽で便利なものなのでうまく使いこなしましょう。Windows Live SkyDriveの他にもたくさんのオンラインストレージがありますので探してみてください。

## 開発室から

👤 クルマを運転して富士山を見に行きました。山中湖から順に、富士五湖を周り、富士山の周辺に約6時間居たのですが、霧や雲に邪魔をされ、富士山の全景を見たのはたったの30分程度でした。インターネットで検索した富士山の画像のように、真っ青な空を背景にした富士山が見たかったのでガッカリ。でもほんの30分だけ見えた富士山は、やっぱり凄かったです。また行ってみたいです。